



(第3種郵便物認可)

新 館 函

「新幹線」で活気再び

花山車
初登場

木古内 あすから咸臨丸まつり

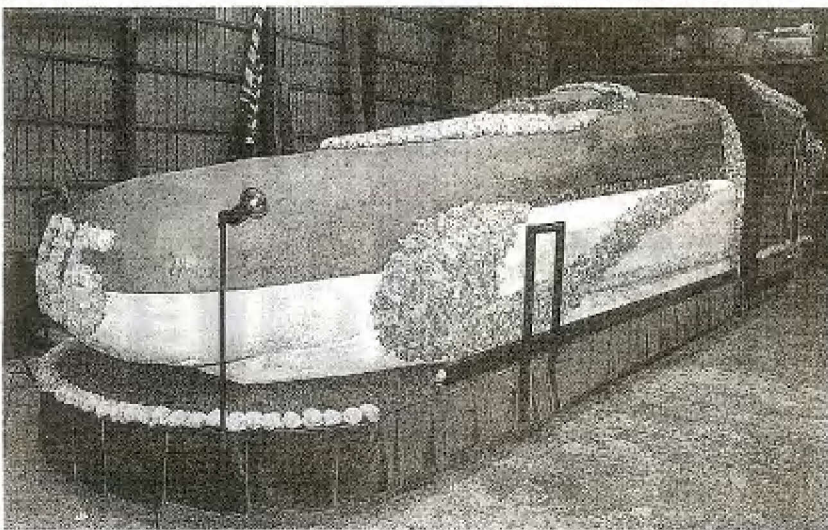
【木古内】幕末期に幕府約10万の花山車も初登場の船として初めて太平洋をし、パレードが盛大に行われ、サラキ岬で眠る咸臨丸にちなんだイベント「きこない咸臨丸まつり2015」が15、16の両日、町内で開かれる。北海道新幹線木古内駅開業記念として、新幹線の形をした長さ

約10分の花山車も初登場の船として初めて太平洋をし、パレードが盛大に行われ、サラキ岬で眠る咸臨丸にちなんだイベント「きこない咸臨丸まつり2015」が15、16の両日、町内で開かれる。北海道新幹線木古内駅開業記念として、新幹線の形をした長さ

線が開業して、町に昔のようになにげわいが戻ってほしい」と思いを込めながら花を装飾した。

15日午後5時半からは、新幹線花山車や咸臨丸、オランダ花山車、東京で制作したミニ新幹線の山車など6基が参列して町内を練り歩く咸臨丸パレードを行う。みそぎ公園では同3時から、ミニ新幹線乗車体験、木古内小・中学校の吹奏楽演奏会、新幹線クイズ大会を展開。さらに同7時20分からは、きこないヨサコイ復活ライブ、新幹線開業もちまき、函館観光大使の谷ちえ子さんの歌謡ステージと道南・津軽コラボレーション歌合戦もある。

咸臨丸まつりで披露される北海道新幹線型の花山車



16日はみそぎ公園で、ピアホール天国(同1時)、木古内仮装盆おどり大会(同6時半)などで盛り上がる。お祭り屋台とフリーマーケットは同公園で両日に行う(15日は正午から、16日は午後1時から)。同協会は「新幹線の花山車といった見たえある盛大な祭りを楽しんで」と話し、来場を呼び掛ける。

(斎藤彰加)